

学校教育目標	希望と思いやりをはぐくむ、美と活力の学校
目指す学校像	～ 常に「思考」を大切にして、「創造」と「進化」を続ける魅力ある学校 ～
重点目標	1 学力の向上 ～ 基礎学力・読解力の向上に向けて 2 生徒指導と教育相談の充実 ～ すべての活動の基盤となる生活面の安定に向けて 3 花笑み教育とコミュニティスクールの活性化 ～ スクールコミュニティの構築に向けて 4 教育環境の整備 ～ 学校事故の防止と安心・安全の確保に向けて 5 教職員のはたらき改革と研修の充実 ～ 教職員の資質の向上に向けて

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	（8割以上）
	B	概ね達成	（6割以上）
	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学校自己評価								学校運営協議会による評価	
年度目標						年度評価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	● 現状 全国学力学習状況調査からは国語力の低迷が顕著である。数学は小学校から中学校1年生までの基礎学力の養成が強く求められる 家庭学習の習慣化が求められている ● 課題 「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び」を達成するために「単元内個別進度学習」を軸に研究を深め、具体的に展開すること 単語の精査、語彙力アップ、文章の要約等により読み取り、思考、説明等の外化を行えるようにすること 基礎・基本内容の徹底と学び方の習得を学校と家庭の連携の下で習慣化を図ること	学習指導の基盤づくり	※ 安心して学習できる環境の整備 ☆ 学級活動における「話し合い活動」の理解と実践、「協働的な学び」への応用として各教科で実践 ～「相互評価」のあり方を含む コミュニケーション力アップを含む	①「協働的な学び」として位置付けた話し合い活動を、学級活動の時間に最低3本実施したか ②教科で「話し合い活動」を導入し指導計画に位置付けたか ③端末の共有ソフトを活用したか ④話し合い活動の取り組みについてのアンケートを創出し検証する					
		学習指導の充実	※ 「習得」の徹底による「読解力及び基礎学力」の向上 ☆ テスト前後の学習意識の向上 ☆ 「個別最適な学び」を具現化する授業の実践 ☆ 「読書」時間の確保 ☆ 家庭学習の奨励と内容の強化・充実	①「チャンスタイム」を設定、結果の検証を行ったか ②やり直しテスト」を実施、結果の検証を行ったか ③「単元内個別進度学習」を指導計画に位置づけたか ④家庭学習定着に向け取り組んだか ⑤端末のドリル教材を活用したか ⑥ 学習面の学校評価＝生徒 80%、保護者 80%、教職員 80% の肯定的回答					
2	● 現状 生徒数186名、明るく活動的な生徒が多く、不登校や校渋り等が各学級に存在、指導を要する問題行動も散見される全国でも標準的な状態 学区は中央区とほぼ同じ広さ、旧2村から構成され、校区小学校は2校それぞれ単学級である 地域は継続的に見守り活動が行っている ● 課題 学級・学校の集団の規模が小さくとも、将来の日本を支える人材として「必要な資質は他の地域と変わらない」という意識を醸成すること 「城南カフェ」において個々の生徒への対応として多様な学習スタイルを模索・具現化すること	生徒指導の充実	※ 安心・安全の基盤たる生活面の指導 ☆ 「生徒指導部会」の充実 ☆ 超越え案件の絶無 ☆ 「校則検討委員会」の実施 ☆ 学級経営に関わるOJTと学期ごとの達成度の検証	①生徒指導委員会は中心的な立場で活動がしたか ②学級経営の状況を毎学年会と学期末に学年職員で検証を行ったか ③スピード感をもって対応ができた ④生活面学校評価＝生徒 80%、保護者 80%、教職員 80% の肯定的回答					
		教育相談の充実	※ すべての子どもを取り残さない指導 ☆ 「城南カフェ」の整備 ☆ 「教育相談部会」の充実 ☆ 迅速な情報共有 ☆ 関係機関との連携強化 ☆ 学級経営に関わる学期ごとの検証	①教育相談部会は中心・指導的な立場で活動ができたか ②学級の要相談案件に継続的に取り組んだか ③スピード感をもって対応したか ④生活面学校評価＝生徒 80%、保護者 80%、教職員 80% の肯定的回答					
3	● 現状 「花笑み教育」2年目となる。継続的に人事配置が行われ、PTAや自治会、青少年育成市民会議等の協力を得ながらの展開に希望がある ホームページ活用は更新が追いついていない 花笑みだより」は三校が回り持ちで発行しているが地域への浸透は今一つのようなのである ● 課題 「花笑み教育」の地域住民・保護者のニーズを踏まえた具体的な内容を検討すること、併せて持続可能なものに仕上げること 学校運営協議会に生徒も参加させ、理想の学校像や地域との関わり方を熟議で取り上げること ホームページの積極的活用を図ること	花笑み教育に関わる開かれた学校づくり	※ 花笑み教育の継続と充実 ☆ 小学校行事へのボランティア参加を含む三校連携行事の協力体制強化 ☆ 小学校との学習連携強化と義務教育の出口として学習指導強化	①ボランティア活動への参加者を確保できたか ②引き渡し訓練を合同で行えたか ③小・中連携教員の活動集約を行えたか ④美園北小と関わりを深めたか ⑤「花笑み教育」のアンケート調査で保護者の80%、地域60%の肯定的回答					
		コミュニティスクールの活性化	※ 保護者・地域への情報発信 ☆ HPのリニューアルとシステム化 ☆ 学校運営協議会のあり方の検討 ☆ 三校のPTAとの連携強化 ☆ 民生委員連絡会の開催 ☆ 地域行事へのボランティア参加と地域人材の活用	①地域・保護者対象の給食試食会・授業参観を実施したか ②学校運営協議会に生徒が参加したか ③PTAと協力して取り組みに工夫を加えたか ④民生委員連絡会を開催したか ⑤三校長会を定例開催したか ⑥HPをリニューアルしたか ⑦「学校理解」のアンケート調査で保護者の80%、地域60%の肯定的回答					
4	● 現状 施設・設備の安全点検を行い、不良個所の発見と迅速な修繕にあたっている 体罰・暴言・不適切な指導は間接的な指摘があった時点で本校全教職員への注意喚起と個々の教員からの聞き取りと指導を行った SNSに関わる安全教室を1回開催、関係案件は今年度6月末現在で3件 ● 課題 教職員の安全に対する意識・緊張感を常に持たせ、学校事故の根絶を図ること 生徒のSNS利用についての安全意識を高め、生じた事案には迅速丁寧に対応すること	安全に関する教職員の意識向上と実践	※ 教職員事故の防止 ☆ 個人情報管理の徹底 ☆ 諸会計事務・監査システムの厳正化 ☆ 余裕ある行動による交通事故防止 ☆ 非違行為への注意意識の向上 ☆ 教職員・生徒の連絡体制整備	①個人情報管理の定例管理チェック・紙媒体の格納点検を励行したか ②会計監査を学期末実施したか ③職員会議で体罰・暴言等の事故防止研修を実施したか ④日常的に信用失墜行為の根絶と事故防止のための徹底が図れていたか ⑤新たな連絡システムの検討をしたか					
		生徒を取り巻く環境の安心・安全の確保	※ 生徒事故の未然防止と確実な対応 ☆ 安全点検を定期的 to 実施し、併せて管理訪問型の点検を定例化する ☆ スクールロイヤーや情報教育堪能者による教職員研修と現場での活用 ☆ 学級・学年・学校によるいじめ防止	①月に1回の安全点検と学期に1回の管理訪問型の点検を行えたか ②警察やスクールロイヤーを招聘してSNS安全教室を実施したか ③突発的問題発生時にも直ちに対応したか ④多文化共生を意識した「いじめ防止」が学校を挙げて周知・徹底できたか					
5	● 現状 一部教科は他校兼務の教職員、多くは2名配置であり、教職経験年数が浅い教員が多い 変化の大きい時代に適応できる「探究的な学び」を可能にする教員が求められている 教職員の在校時間は他校に比べて短い ● 課題 「全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び」の研究の継続的取り組みと、さいたま市DXやSSSPとの整合を図ること	研究計画と自己のキャリアアップ計画に沿った資質向上の取り組み	※ 教師力アップ ☆ 上記の諸活動の実践とOJT ☆ キャリアアップ計画に沿い特別活動、生徒指導、教育相談への知見を深める研修 ☆ 次期指導要領と「探究的学び」を意識した授業研究 ☆ 小学校教育の理解に関わる研修	①学校課題研究「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」に関わる「新たな授業スタイル」を組織的・計画的に実行したか ②教育課程説明会、市教研を活かしたスキルアップが行えたか ③各学級で「話し合い活動」の研究を深めたか ④小・中連携を意識した自己研修が行えたか					